

# 1 地域、企業、大学等と連携した学習をすること

## 地域、企業、大学等について知りたい

### 【小学校・小学部】

・地域の企業と協力して学習することで、地元でしか学べないことを学んだり、地域の企業を知ることができる学習をする。

### 【中学校・中学部】

・地域の伝統やその歴史など、地域に根付いた学習がしたい。

・地域を学ぶ授業が小中学校からあってもいいと思う。自分の生まれた地域を知ることが自分を考える上で大事な土台になると思います。自分の暮らす市町村の強み・抱えてる問題、税金の流れ、そもそも誰が運営しているのか？市長を知ってる子はあまりいません。

### 【高等学校・高等部】

・自分の住む地域について学ぶことができる。小さい頃から暮らしている町でも高校になってから知る地元の良さがある。そういったものについて深く考えることができる。

・自分の興味・関心のある企業の仕事体験イベントを行ったり、現役大学生の合格体験を聞く場があって欲しい。

## 地域、企業、大学等と交流したい

### 【小学校・小学部】

・大学などは都会のほうに行ってしまう人が多いので、地域とつながりが強く、地域と一緒に学べるような高校。

### 【中学校・中学部】

・地域の方々との交流が深く、何か取り組みをする時に、応援してくれる高校。

### 【高等学校・高等部】

・様々な人と意見交流ができる場があると、視野が広がるからそのような場を提供してもらえる学校だと嬉しい。

・高校は子どもと大人の狭間なので大人とはどういうことや社会で必要なことを学びたい。また、地域や大学、企業と連携して何かを作成したり交流を深めたりしたい。

# 1 地域、企業、大学等と連携した学習をすること

## 地域に貢献したい

### 【小学校・小学部】

- ・地域のためにゴミ拾いをしたり、なにか地域に貢献することができる高校にかよいたいなと思いました。
- ・地域などでこまったことが起きても自分たちの意見でどうすればいいのか考えられるようになりたいから。

### 【中学校・中学部】

- ・地域の方々と協力しあい、ボランティア活動に進んで取り組んでいきたいと思います。
- ・自分の住んでいる地域は過疎化が進んでいるので高齢者などを援助できる取り組みを地域で連携して行うことを高校でやってみたい。

### 【高等学校・高等部】

- ・地域に支えられているので地域に貢献できるような高校にしていきたい。
- ・地域との交流を深めるために、学校で挨拶運動をしたり、ボランティア出来るところがいいなと思います。勉強や進路等で仲間と切磋琢磨し、高め合えたらもっと良い学校になると思います。
- ・小中ではあまり直接的に地域と関わることがなかったので地域に直接貢献できるような機会を増やしたい。
- ・郷土芸能などの地域の伝承活動に力を入れている学校。

## 地域について探究したい

### 【小学校・小学部】

- ・地域で販売体験や職業体験などの体験をして仲間と共にいろいろな知識を深められる高校。

### 【中学校・中学部】

- ・自分の地域や企業と関連することはとても夢が広がっていいなと思いました。総合的な学習などを自分で選べて考えられる学校に通いたい。

### 【高等学校・高等部】

- ・地域や企業、行政と連携し一般教科以外の世の中のことや自分のやっているプロジェクトをサポートしてくれる体制があるといいと思う。
- ・地域の課題や、課題の解決策を考えたり地元の企業などと連携した学習を行い、自分の進路実現に向けて努力していきたい。
- ・実際に地域の企業や会社に行って、課題を見つける。そしてその課題を自分たちで考えて解決策を考える力を養うことができる高校に通いたいです。

# 1 地域、企業、大学等と連携した学習をすること

## 地域、企業、大学等の連携を将来に生かしたい

### 【小学校・小学部】

- ・将来の夢を探したり考えたりする時間や経験、知識が広がる授業になって欲しい。そして、育った地域を大切に、そこに住めるように、仕事があるように、高校時代の授業は大切だと思う。
- ・キャリア学習をして、将来に生かしたい。人間力を高めたい。

### 【中学校・中学部】

- ・地域や企業、大学との連携した学習をすることによって、社会で生きていく上での経験を得られると思うから。
- ・世の中に必要なこと、社会とどう関わっていけばよいかをより詳しく学んで、自律的な活動を増やしていきたい。

### 【高等学校・高等部】

- ・地域を支え地域に支えられる学校で学びたいです。そういった経験は必ず将来役に立つと思います。
- ・地域や企業、大学と連携することで、高校での学習の幅が広がると思う。就職や進学に対する意識がしやすくなると思う。
- ・一番身近な社会という世界に触れる機会であり、とても自分達の為になっていると思います。また、自分達の住んでいる町の現状を知り、進学するうえで何を学びたいかなどの新しい発見や動機づけのきっかけにもなっていてとてもいい経験になっています。これから先もぜひ続けて欲しいと思います。

## 高校を魅力化したい

### 【高等学校・高等部】

- ・地域に貢献出来るような高校に通いたい。また、地域に愛されるような高校に通いたい。
- ・地域との連携も大切だと思うけれど、他の地域からも興味を持ってもらえる学校になって欲しいです。

## 他の高校と連携したい

### 【中学校・中学部】

- ・他の地域の生徒や他の高校の生徒とも交流できるといいなと思います。

### 【高等学校・高等部】

- ・他校の生徒と合同で共通の学習内容について学び意見を交換する機会があると良いなと思いました。
- ・進学中心の高校と就職中心の高校とで交流があると面白いと思う。自分のあまり触れたことのない世界を体験するのは非常に学びになる。

# 1 地域、企業、大学等と連携した学習をすること

## 県教育委員会からのコメント

### 県立高校の現在の姿

- 各高校は、地域・企業・大学などと協力して、生徒を育てる方針を定めています。
- 生徒の能力を育てるため、また、地域などとのつながりを強めるために魅力ある高校づくりを進めています。  
また、高校と地域が協力して、地域に貢献する人を育てることを進めています。
- 各高校と地域・企業・大学などと協力した活動が活発になっています。
- 岩手県の生徒は、地域に関わる意識が全国の生徒より高い傾向にあることがわかっています。
- 地域の人や企業などと高校を結び付ける中心的な役割をする「コーディネーター」と呼ばれる専門家がいます。  
国は、「コーディネーター」を高校の職員などにすることを進めた方が良いという方針を示しました。  
ただし、「コーディネーター」をする人を育てたり、見つけたりすることが難しいという課題があります。
- 現在、小さな高校での学習を改善することが話し合われています。  
その中で、他の高校と連携することが必要だと示されました。  
ただし、連携する高校同士で時間割や行事などを合わせなければならないという課題があります。

### 県立高校の将来の姿

- 生徒が学習したいと思う気持ちを高めて、一人一人の可能性や能力を最大限発揮してもらうため、魅力ある高校づくりをさらに進めます。  
また、各高校は生徒を育てる方針を定めて、授業などに取り組み、県教育委員会はそれを支援します。
- 岩手県でこれまで育ててきた各高校と地域・企業・大学などとの協力関係をさらに深めます。  
また、県教育委員会はその取組を継続できる支援をします。
- 「コーディネーター」を育てたり、増やしたりすることを、国や他の県の取組に注意しながら目指します。
- 学校同士で連携することの良い点とうまくいかない点をよく考えて、取組を広げることを目指します。

## 2 主に大学進学を目指す学習をすること

### 目標に合わせて学習をしたい

#### 【小学校・小学部】

- ・大学に進めるよう勉強が苦手な人もちゃんとついていける高校。
- ・大学に進学するために少しレベルUPした授業も取り入れてほしい。

#### 【中学校・中学部】

- ・何かに特化した特徴的な学習よりかは、基礎的な学習で幅広く、将来を選ぶ指針にもつながるようなことを高校で学びたい。
- ・大学進学と言ったらやはり応用的な知識がほしいので応用問題を多く解ける学校が良い。
- ・将来の夢のため、大学へ進学しようと考えている自分とともに競い、そして高めあうことができる仲間と高校で出会いたい。そのため、自らの知識や、経験を蓄えることのできる環境が整っている高校で学びたい。
- ・最難関大学の受験を見据えた学習内容にしてほしい。

#### 【高等学校・高等部】

- ・ちょうどいい偏差値のところがないので学力がほどほどでいい感じの学校がいい。
- ・とにかく大学進学に特化した学びをたくさんしていきたい。そして、岩手県の高校生の学力をアップさせていきたい。

### 学習方法を工夫してほしい

#### 【小学校・小学部】

- ・大学に合格できるような高校になるために、みんなが勉強できるようになにか勉強したくなるような授業などを作るのがいいと思います。
- ・人によって得意不得意があるけれど、得意を伸ばし、不得意を平均まで伸ばすような高校に通いたいです。

#### 【中学校・中学部】

- ・しっかり2年までに高校範囲を終わらせ3年は演習などで入試対策をしっかりする、あらゆる教科選択に対応できる高校がよい。
- ・大学進学を考えているので、勉強がわからないときでも個人でじっくり教えてくれるような高校に通いたい。
- ・自分の行きたい大学に合わせてコースなどを決められたらいいなと思った。また、それぞれの大学の模試みたいなものをやってみたい。

#### 【高等学校・高等部】

- ・課外や宿題の在り方を見直す必要がある。自主性をもっと尊重すべき。
- ・大学進学を目的とする学校なら、学年開始時につどつどどのような日程で学習を進めるのかを提示してほしい。
- ・東大プロジェクトみたいに、どこかの難関大に特化したコースが欲しいです。

## 2 主に大学進学を目指す学習をすること

### 進路指導・キャリア教育を充実させてほしい

#### 【小学校・小学部】

- ・僕は、学校側が大学進学など未来について、全力でサポートしてくれる学校に通いたいです。自分の実力に見合うような学校を進めてくれる、生徒に寄り添ってくれる学校がいいと思いました。
- ・職業について学びたい、そのために大学に行きたいので高校では主に大学進学を目指す学習や地域のことを学び、将来に活かせることをしていきたいです。

#### 【中学校・中学部】

- ・中には「○○大学に行かなきゃ」と悪いことではないが選択肢が縛られている子がいると思うので、そのような子の選択肢とか新たな進路を広げられるような高校で学びたい。
- ・大学進学の際に自分と真摯に向き合ってくれて、自分に合った大学と一緒に考えてくれるような高校に通いたいです。
- ・学校として大学の体験（オープンキャンパスなど）を選択して行ける高校。
- ・どんな事情があっても、学びたい気持ちが認めてもらえる学校になって欲しいです。進学を希望している学校は、学びたい気持ちを理解して貰えていないような気がしています。
- ・大学への進学をゴールとするものじゃなく、その先の大学で何を学べるかが分かり、さらに生涯に役立つような学習ができるような高校に通いたいと思う。
- ・普通科の学校でも自身のしたい職について学べる場や時間を設けることによって、将来について見通しを立てる事ができ、大学受験にも意欲的に取り組むことができるようになると思う。

#### 【高等学校・高等部】

- ・進学に対して手厚いサポートをしてくれたり、奨学金や海外派遣など生徒の将来に役立つ制度があったりして、生徒が社会に出ても困らないくらい養育力を築きたいです。
- ・難関大講座について、どこの大学を具体的に想定しているか明記してほしい。(東北大などのような難関と国公立医学部のような難関ではベクトルが異なると考えているため。)
- ・次の将来に向けて人間性を育てるとともに大学進学を目的とした幅広い学習ができる学校にかよいたい。

## 2 主に大学進学を目指す学習をすること

### このようなことを学びたい

- ・文学についてや国学について学べる高校で学びたい。
- ・世界史や地理、今の世界の情勢や今の世界がどうなっているかについて学びたいと思っています。
- ・ニュースなどの内容について解説してくれる授業があるといい。
- ・数学をたくさん勉強したい。
- ・理科の元素記号を学んだり、天候の変化と世界の変化など、理科についていろいろなことを学びたい。
- ・自然や地球の仕組み、何故宇宙は誕生したのか宇宙は何なのかを学びたい。
- ・スポーツや運動がたくさんできて将来スポーツにかかわりたい人が集まる高校がいいと思う。
- ・スポーツのトレーナーのようなことを教えてくれる高校に通いたい。
- ・美術大学や、絵の専門学校で学ぶような知識を詳しく勉強できるような学校に通いたい。
- ・音楽の授業でプロの方に教えてもらいたい。
- ・英語についてくわしく学べる高校に通いたい。
- ・多言語を学びたい。英語だけでなく隣の国の韓国語や中国語、フランス語なども学べるともっと世界が広がり、進学や就職するときにも大きな武器となると思う。
- ・理系が好きだが県内に理数科が少ないため増やして欲しい。

## 2 主に大学進学を目指す学習をすること

### 県教育委員会からのコメント

#### 県立高校の現在の姿

- 高校は、学びの種類によっていくつかの「学科」に分けられます。
- 国語、数学、英語、理科、社会などを主に学ぶ学科を「普通科」と言います。  
「普通科」では、学習を通して、幅広い知識と社会の一員として生きていくための力を育てています。  
また、将来の目標をしっかりと定めて、そこに向かう準備のための学習をしています。
- いくつかの高校には、「普通科」の学習を基本としながら、理科や数学を重点的に学ぶ「理数科」や体育を重点的に学ぶ「体育科」があります。
- 岩手県の中学生のおよそ6割が「普通科」、「理数科」、「体育科」への進学を希望しています。
- 「普通科」の中で「芸術」、「外国語」、「体育」の学びを重点的に学習できる高校があります。
- 科学技術、工学、芸術、数学などの学習を社会問題の解決に生かしていくために、教科を越えた、つながりのある学習が必要とされています。
- 小さな高校(1学年あたり1~3クラス)の多くが「普通科」のある高校です。  
そのような高校では、専門の先生が少なくなって、学習できる教科の種類を揃えるのが難しいという課題があります。
- 進学を希望する生徒が多い高校では、大学進学希望を叶えるために、どのように学力を高めるかという課題があります。

#### 県立高校の将来の姿

- 生徒の進路は、大学や専門学校への進学、就職など様々なので、生徒や保護者の希望や社会の変化に対応した学びをさらに進めます。  
また、生徒の能力を高めるために、学習内容の見直し、学びを特色あるものにする取組をさらに進めます。
- 現代の課題に対応した能力を育てるため、実践的な学び、生徒が問題を発見・解決する学び、ICTを活用した学びなどを強化します。  
また、そのような学びができる新しい学科やコースを考えていきます。
- 「理数科」や「体育科」などは、卒業後にどのような進路に進んでいるかなどをふまえ、学びの内容などについて考えていきます。
- 小さな高校(1学年あたり1~3クラス)で、より良い学習ができる方法を考えていきます。

## 2 主に大学進学を目指す学習をすること

### 中高一貫教育を取り入れてほしい

#### 【高等学校・高等部】

・中高一貫校を増やすべきだと考える。理由は以下の通りです。

1 高校に入学し今までと異なった環境になってしまうと変化に適応できず不登校になってしまう可能性がある。大きな変化がなくゆとりある環境で6年間学べる点が魅力的である。

2 他校にくらべ授業の進度が早いため、レベルが高く大学受験に向けた対策が早めに行える。

3 高校生が近くにいるため将来を見送ることができる。

・専門的な知識を学ぶのに高校生活の三年間だけでは足りないと思う。中学三年間で基本的な知識を学び、高校三年間で応用的な知識を学び、職場体験などを通して学びを深めるやり方が将来に生きてくると思う。

#### 県教育委員会からのコメント

#### 県立高校の現在の姿

○県立高校の中高一貫教育には、「連携型中高一貫教育」と「併設型中高一貫教育」があります。

○「連携型中高一貫教育」は、授業交流などで地域の中学校と高校が交流して、連携高校への高校入試は基礎学力の確認などをします。「連携型中高一貫教育」をしている地域の中学生が減っているという課題があります。

○「併設型中高一貫教育」は、中学校入試で入学した「附属中学校」の生徒は、高校入試をせずに併設高校に入学できます。その他に、他の中学校から高校入試をして入学する生徒がいます。

中学校から高校までの6年間で、生徒が問題を発見・解決する学びを充実させています。また、「附属中学校」出身の生徒と他の中学校出身の生徒が交流し合うことで、互いに刺激して高め合っています。

地域の中学生が減っていること、「附属中学校」のより良い学びの研究をこれからもしなければならないという課題があります。

#### 県立高校の将来の姿

○「連携型中高一貫教育」は、地域の中学生の数や連携高校への入学者の数に注意して、今後について考えていきます。

○「併設型中高一貫教育」は、これまでの成果や地域の中学生の数に注意して、今後について考えていきます。

### 3 主に職業に関連する学習をすること

#### どのような職業があるかを知りたい

##### 【小学校・小学部】

- ・将来の職業はどんなのがあるかを知りながら学びたい。
- ・いろんな職業に興味があるからです。いろんな職業の人が来て教えてくれるような高校に通いたいです。

##### 【中学校・中学部】

- ・中学生でまだなりたい職業を考えられていないので、様々な職業を学習の中で知ることができれば良いと思う。
- ・世の中にはどのような仕事があるのかもっと知りたい。自分にあった仕事をみつけない。

##### 【高等学校・高等部】

- ・職業について、分野ごとに詳しく学んでみたい。大学や専門学校に通っていても、最終的には、仕事をすることになるので、今のうちに、どのような職業があるのか知っておきたい。
- ・現在一般に認知されている職業だけでなく、より幅広い職業について学ぶことのできる高校。

#### 就きたい職業について学びたい

##### 【小学校・小学部】

- ・目指している職業になるために同じ夢を持っている人達と集まって勉強をしたり話をする時間があるとよい。
- ・文系コース、理系コースと別れているように、学級が目指している職業のカテゴリーで分けられていると、必要な勉強をより多くできるので良いと思います。
- ・やりたい職業に特化した学部があれば、やる気がわくし、勉強意欲も増えるのでこういう高校で学びたいです。

##### 【中学校・中学部】

- ・自分の将来について考えたときに、目指す職業に関連した学習に焦点を当てて勉強をしたい。

##### 【高等学校・高等部】

- ・普通科の高校では学ぶことができない専門的な学習をする時間が多いといいなと思う。
- ・企業に必要な知識を学校で学ぶことで企業の即戦力になるので職業に関する学びを増やした方がいいと思います。

### 3 主に職業に関連する学習をすること

#### 資格や検定を取得したい

##### 【小学校・小学部】

- ・将来の職業に関すること、資格のために必要なことなどを学び、実践ができる高校。
- ・就職に結びつくような実技がたくさんある高校。

##### 【中学校・中学部】

- ・卒業と一緒に資格が取れる学校に通いたい。

##### 【高等学校・高等部】

- ・他の学校では取得が難しい資格がとれる学校。
- ・今必要な資格の勉強やそれについて理解を深める学習をしたい。

#### 進路指導・キャリア教育を充実させてほしい

##### 【小学校・小学部】

- ・面接時のマナーやどんな職業がいいか考えてくれる高校で学びたい。
- ・社会について学べるようなところや、社会に出るためには、どうしたらいいのか学べるところ。

##### 【中学校・中学部】

- ・幅広い職業を選べるように、職業体験などを行ったらいいと思う。
- ・地域にある企業の詳しい内容、岩手県にある企業の詳しい内容。
- ・将来について深く考えることによって、進学や就職も自分の納得する形でできると思うから。
- ・社会に出たときに困らないように目上の方とのコミュニケーションの取り方や会社での暗黙のルールなどを知りたい。

##### 【高等学校・高等部】

- ・インターンシップを取り入れてほしい。特に高校生になると大学進学のための職業選択を考える必要がある。そこでインターンシップを取り入れる事で職業選択のきっかけとなり未来について考えることが容易になるから。
- ・実習、作業学習で報告、連絡、相談のタイミングを覚えたいです。
- ・実業高校の魅力がもっと県内の子ども達に伝わって欲しいなと思っています。実業高校では一番社会と関わる機会が多くあり即戦力としても戦える力が身につきます。これから先の世の中では有力な人材が求められるので、実業高校も進学先の視野に入れてもらえるように中学校の頃から実業高校と関わる機会を作っていただきたいです。

### 3 主に職業に関連する学習をすること

#### 農業について学びたい

- ・農業をするために今では、機械を使った米づくりをするので機械を使う勉強をしたいです。
- ・乗馬など動物と関わる機会が多い学校。
- ・自分は、酪農経営で自宅からかよえる場所だし、高校は農業高校だったので入って農業の勉強をもっとしたいと思って入りました。
- ・スマート農業を学べたらよかった。
- ・農業土木に関する知識を学びたい。
- ・動物と触れ合ったり、自分で料理をしたりなど楽しい学習がしたいです。先生に教えてもらうのではなく、自分たちで協力して活動してみたいです。

#### 工業について学びたい

- ・機械のことなどを高校で学びたい。
- ・自分の夢は自動車整備士なので、自動車について深く学べる高校に入りたいと思いました。県内の高校で、自動車について学ぶことができる所は少なく限られており、主に私立が多いので公立でも学ぶことができるようにしてほしいです。
- ・工業に関する学習をやってみたいです。理由は、メカやプログラミングなどに興味があり、特に自分の作ったロボットでロボコンに出場してみたいからです。
- ・僕は電子機器に興味があるから機械を使う高校に入りたいです。
- ・大工になるための勉強や実践をしたい。
- ・将来やりたいことは建築や土木をやりたいと思っています。
- ・高校で潜水について学びたい。
- ・色んな企業からのオファーが多いのは工業高校ならではの。

#### 商業について学びたい

- ・高校卒業してすぐ働けるようなビジネスマナーなどについて学べる高校。
- ・高校では経済の仕組みや、経済学関連のことについて詳しく学びたいです。
- ・簿記や情報処理や流通など中学校では学べない内容を学んでいるから。
- ・高校では、パソコンでのデザインや広告の作り方を中心に、学びたいです。
- ・商業高校では、他の学校では習わない科目などがあって大人になってからでも使えるような科目があっていい。
- ・高校に入って商業関係の勉強が増えてきて色々検定や考査がある中で、部活も両立しなきゃいけないっていっぱいやることがあるけど、先生達がサポートしてくれて分かりやすく教えてくれてありがたいです。

### 3 主に職業に関連する学習をすること

#### 水産について学びたい

- ・魚の生態や釣りのことなどを学びたいです。
- ・漁業の免許や調理師の免許どちらかを取ってみたいからです。
- ・おとうさんと、おじいちゃんと、ひいおじいちゃんがぎょぎょうをしているから。
- ・水産系の事を学べる高校を増やしてほしい。

#### 家庭について学びたい

- ・服に関係しているようなことなど、その特定の職業についてを学びたいです。
- ・今あまりない学習を増やして、国語や算数の勉強だけでなく、私だったら編み物などの手芸なども学んでみたいと思いました。
- ・食べ物についての学習や、栄養学を学べる高校にかよいたいです。
- ・例えば、料理について学べる学科で、将来自分で店を建てるとして、その時に絶対に契約していなければならない会社（衛生、保険などの会社）なども学びたい。
- ・普通科では学ぶことができない調理のことを専門的に学べるため、今のうちから専門的な知識がつくので専門の科があるのはいいと思う。

#### 福祉について学びたい

- ・福祉関係の職業について学びたいです。
- ・私は将来介護福祉士になることが夢です。高校からちょっとずつ福祉に触れた学習を行いたいと思っています。でも岩手では介護が勉強できるところが少なく、できるだけおおく介護について学べるところに行きたいと考えています。

### 3 主に職業に関連する学習をすること

#### いくつかの職業について学びたい

##### 【小学校・小学部】

- ・農業・漁業などの職業に関すること、世の中を生きていくためのお金に関するものを学びたい。

##### 【中学校・中学部】

- ・沢山の職業に触れられる高校に行きたい。
- ・たくさんの学科があって、自分で選択できる高校。

##### 【高等学校・高等部】

- ・農工商が集まってる高校に通ってみたい。
- ・この高校に入学する前に3つの学科を選ぶことができ、そこから自分が勉強したいのを選択できること。
- ・私の高校には4つの学科があり、それぞれの分野で学んでいます。ですが、別々でやっていることから他学科と協力した実習をしてみてもいいでしょうか。

#### いくつかの分野から選んで学びたい

##### 【小学校・小学部】

- ・学びたいコースを自分で選択できる高校に通いたい。

##### 【中学校・中学部】

- ・私はコースが沢山ある高校に行って将来についての勉強をしたいと思っています。

##### 【高等学校・高等部】

- ・たくさんの系列がありそこで色々なことを学ぶことができる。
- ・幅広い職業があり自分で選んで学習したい。

### 3 主に職業に関連する学習をすること

#### 県教育委員会からのコメント

#### 県立高校の現在の姿

- 高校は、学びの種類によっていくつかの「学科」に分けられます。
- 農業、工業、商業、水産、家庭など職業に関連することを主に学ぶ学科を「専門学科」といいます。国語、数学などに加えて、農業、商業などを選んで学べる学科を「総合学科」といいます。
- 例えば、工業に関連する学びは、さらに専門的に「機械科」、「電気科」、「建築科」…などに分けられます。
- 県立高校のいくつかの「総合学科」では、福祉に関することを学ぶことができます。
- 岩手県の中学生のおよそ2割が「専門学科」、「総合学科」への進学を希望しています。
- 「専門学科」では、地域や企業がどのような人に働いてもらいたいかを理解して、そこで役に立つような生徒を育てています。ただし、時代の変化によって、地域や企業が生徒に学ばせてほしい内容と学科の学びの内容が合っていないことがあるという課題があります。
- 小さな高校（1学年あたり1～3クラス）では、専門の先生が少なくなって、学習できる教科の種類を揃えるのが難しいという課題があります。

#### 県立高校の将来の姿

- 地域や企業がどのような人に働いてもらいたいかを理解して、そこで役に立つような生徒を育てることをさらに進めます。
- 学校や学科をこえて、農業、工業、商業、水産、家庭などが連携した学びを目指します。
- 現代の課題に対応した能力を育てるため、実践的な学び、生徒が問題を発見・解決する学び、ICTを活用した学びなどを強化します。
- 農業、工業、商業に関連する大きな高校（1学年あたり4クラス以上）は、職業について学ぶ中心的な役割を果たしていきます。
- 小さな高校（1学年あたり1～3クラス）では、専門の学びを保ちながら、より良い学習ができるようにするために、いくつかの職業の「専門学科」が集まった高校を作ることなどを目指します。
- 職業に関連する学びの種類について県内全体のバランスを考えます。

## 4 登校時間や学習場所を自分のペースで選べること

### 登校時間を選びたい

#### 【小学校・小学部】

- ・登校時間を変えられるのがいいのは、バイトや外に出られないときなどにやくだつので、学費をちゃんと払えそうなので、いつでも授業ができるのはすごく感心しました。
- ・登校時間を自分のペースに合わせて選べるなら、起きるのが苦手でも時間に遅れることがないし、それで怒られないから良いと思う。
- ・時間がきっちりきまっていると負担になったりすることがあるので、じぶんは自分のペースで通ってみたい。

#### 【中学校・中学部】

- ・朝は体調が悪いかがあっても登校時間を自分で選べれば、学校を休む日も少なくなって勉強も遅れてしまったりすることが少なくなっていいと思います。
- ・登校時間を複数設けるほうが良いと思う。企業で採用されているフレックスタイム制のように、自分で複数設けられた登校時間から選んで決められた学習計画をこなすというようにすれば、電車が遅延したり、病気で朝起きることが辛い人でも安心して学校生活を送ることができると思う。

#### 【高等学校・高等部】

- ・働きながら、夜高校に行っているが、もう少し定時制などでも幅広い分野の勉強がしたい。

### 学習場所を選びたい

#### 【小学校・小学部】

- ・通信制で学費が安い高校にかよいたい。
- ・高校そのものに行って学ぶほかいろいろな方法で勉強できる学校に通いたい。
- ・家からのオンラインで勉強したり、歩いて登校してもいい高校。
- ・人見知りな人がいたら、人が少ない、違う場所で勉強をしたいと思いました。

#### 【中学校・中学部】

- ・登校時間が選べるのは家が遠い人にとっては嬉しいけど、あまり自由にしすぎると将来会社に勤めて入社時間が決まっているときに守れなくなりそうと思いました。でも、学習することは嫌じゃなくても、クラスの人が嫌で学校に来られない人もいると思うので、学習場所を選べるのはとても良いと思いました。

#### 【高等学校・高等部】

- ・通信制の高校で農業や商業、漁業などの専門的な学習を学べる高校があれば高校選びの視野が広がると思う。

## 4 登校時間や学習場所を自分のペースで選べること

### 登校時間と学習場所の両方を選びたい

#### 【小学校・小学部】

- ・登校時間や学習場所をえらべたら、勉強がもっと楽しくなると思ったから。
- ・早起きが苦手な人や違う学習場所がいい人は自分にあった登校時間や学習場所を選べるから、みんなが集中して学習に取り組めるので良いと思いました。
- ・自分のペースとお気に入りの場所で少しずつ今ある自分の弱さを克服していき、将来の自分の夢に近づきたいです。

#### 【中学校・中学部】

- ・定時制や通信制など、時間や場所が選べていいと思った。
- ・中学生の頃不登校だった生徒などでも、気が楽になって学習できる高校に通ってみたいです。
- ・学習場所を選べれば、落ち着いて集中できるところが選べて、覚えやすくなり成績が良くなるから、行ってみたいし、時間を決めれると、いくら家が遠くでも、授業を受けることができるから行ってみたい。

#### 【高等学校・高等部】

- ・朝起きるのが苦手なのでゆっくり登校したいです。また、学校という場所では無く、一人で静かに学べる場所に通いたいです。
- ・自分のペースで登校時間、学習場所を選べるのは革新的だなと思いました。ですがその分沢山の意見が必要だと思いました。自分の好きに選べて勉強のやる気も上がると思います。

## 4 登校時間や学習場所を自分のペースで選べること

### 県教育委員会からのコメント

#### 県立高校の現在の姿

- 高校は登校時間や学び方によって、「全日制」、「定時制」、「通信制」の3つの種類に分けられます。
- 朝登校して、授業を受ける高校を「全日制」高校と言います。  
夕方または昼間の決められた時間に登校して、授業を受ける高校を「定時制」高校と言います。  
自分で学習計画を立てて、インターネットなどを利用した通信教育で学習する高校を「通信制」高校と言います。
- 自分の生活スタイルにあわせて、朝から夜の中で学習する時間帯を選ぶことができる「定時制」を「多部制」と言います。
- 「定時制」高校には、出席日数などに不安がある生徒も、高校への入学を目指せる制度（チャレンジ枠）があります。
- 「定時制」、「通信制」は、学校生活以外に時間を有効に使いたい人、もう一度学校で学びたい人などの様々な希望に対応しています。  
ただし、不登校などの生徒への対応が増え、高校は、子どもを社会に送り出す役割、子どもの居場所として役割などの強化をしなければならないという課題があります。

#### 県立高校の将来の姿

- 「定時制」、「通信制」に入学する生徒の数や、国や他の県の取組に注意しながら、子どもを社会に送り出す役割、子どもの居場所として役割などの強化を進めます。
- 今ある「定時制」高校の中で、新しく「通信制」の学びができることなどを目指します。

- 5 小さな高校(1学年あたり1～3クラス)で学習をすること
- 6 大きな高校(1学年あたり4クラス以上)で学習をすること

## 小さな高校(1学年あたり1～3クラス)で学習したい

### 【小学校・小学部】

- ・友達とコミュニケーションを早くとれるように人数が少ないほうがいい。
- ・私は、あまり大きな高校にはいける気がしないので小さな高校でまなんでいきたいです。
- ・人数が少なく、授業に集中できる高校にかよいたい。

### 【中学校・中学部】

- ・小さい学校でみんなと仲良くなって楽しくお互いに助け合いのある高校に通いたい。わからないものを詳しく教えてくれる学校に学びたい。
- ・私は同じ年齢の人達と会話をしたり、大人数の人達の中で授業を受けることが苦手です。なので、少人数で授業を受けることができる高校に通いたいです。
- ・少人数で学んだほうが先生も一人ひとりの様子を確認することができたり、少人数だから同じクラスの人と仲良くしやすくなるかと思ったから。

### 【高等学校・高等部】

- ・小規模だとクラス替えなど環境が変わることがないから生活しやすいし、授業でも先生1人に対して生徒の数が少ないから質問などをしやすい環境にあると思った。
- ・小規模校の中で地域に貢献し、地域に支えられる学習をしてきました。小規模校ならではの楽しい学校生活を送られるようなことをさらに学んでいきたいです。
- ・4クラスもあると学習に差が出そうだと思った。
- ・たくさんの方がいるところだと精神的な疲れやストレスが現れることが多いから、そういう人のためにも直ぐに統合すればいいと思わないで欲しい。

- 5 小さな高校(1学年あたり1～3クラス)で学習をすること
- 6 大きな高校(1学年あたり4クラス以上)で学習をすること

## 大きな高校(1学年あたり4クラス以上)で学習したい

### 【小学校・小学部】

- ・今のクラスの人数が小さいから、大きな社会に出た時の暮らし方とかを早いうちに学んでおきたいから。
- ・意見を交流しあうことで分かり合えることがあると思うので、すごくいいと思いました。
- ・いろんな人がいると、色んな視点から、勉強が分かるし、体育祭、運動会など行事が人が多いと楽しくなるので良いと思います。

### 【中学校・中学部】

- ・小規模の学校だと感じる事のないストレスや悩みを高校のうちから経験しておいた方がいい。いろんな人がいるのだと心を広くして生活できるようになる。
- ・人が多く、いろいろな人と交流できる学校に通いたい。人が多ければいろんな考え方の人がいるから自分では思いつかなかった意見に気づき考えを深められる。
- ・たくさんの人と会話したり、文化祭に参加したり色んな人と関わりをもって楽しく学習したい。

### 【高等学校・高等部】

- ・できるだけ多くの人と交流することでコミュニケーション能力等を高めていくことができると思う。
- ・地域の高校は人が減ってしまって、倍率も人数も少ないことが寂しいため規模の大きい学校に憧れる。
- ・県立高等学校再編計画には、生徒数減少への対応として統合がよいと考える。統合により行事や部活動が活性化して、人脈や進路の幅も広がる。一方で学費や通学距離、伝統行事の廃止など課題も多い。普通科高校の減少や偏見を解消するため、コースをふやすなど多様な生徒が目指せる環境づくりが必要であると考え。少子化の影響を踏まえ、メリットとデメリットを考えながら、計画を少しずつ進めることが大切。

## 小さな高校と大きな高校の両方が必要

### 【中学校・中学部】

- ・少人数、大人数のよさを生かした高校になって欲しい。

- 5 小さな高校(1学年あたり1～3クラス)で学習をすること
- 6 大きな高校(1学年あたり4クラス以上)で学習をすること

## 県教育委員会からのコメント

### 県立高校の現在の姿

- これまで岩手県では、様々な教科の学習、多くの部活動、活発な行事のために、1学年あたり4クラス～6クラスの高校が望ましいとされてきました。
- 令和6年度の県立高校のおよそ半分が1学年あたり3クラス以下です。
- 地域の発展や地域の人材を育てる役割として、高校への期待が高まっているので、1学年あたり1クラスの高校もできるだけ残しています。
- 1学年あたり1クラスの高校の入学者の数が少なくなったときは、他の学校と1つにまとめるための話し合い合をする場合があります。
- これから中学生の数が減っていくので、小さな高校(1学年あたり1～3クラス)がさらに増えることが予想されるという課題があります。
- 岩手県の広くて山間地が多いという条件の中で、生徒が減ってもより良い学習ができる方法を考えなければならないという課題があります。
- 小さな高校(1学年あたり1～3クラス)では、専門の先生が少なくなって、学習できる教科の種類を揃えるのが難しいという課題があります。

### 県立高校の将来の姿

- 生徒同士がお互いに高め合う学習、社会の一員として生きていくための力の育成、生徒が希望する様々な学びができるようにするには、ある程度の学校の大きさ(1学年あたりのクラス数)が必要です。
- 岩手県の広くて山間地が多いという条件、地域の高校への期待などから、岩手県の最も小さな高校は、原則として1学年あたり2クラスとします。
- 他の地域への通学が難しい地域については、最も小さな高校を1学年あたり1クラスにすることを考えます。
- 小さな高校(1学年あたり1～3クラス)では、より良い学習のために、遠隔教育や他の学校との連携を考えていきます。  
また、1クラスあたりの生徒の人数などを、国の取り組みに注意しながら考えていきます。
- 大きな高校(1学年あたり4クラス以上)、小さな高校(1学年あたり1～3クラス)にかかわらず、それぞれが魅力ある学校になることを大切にします。

## 7 自宅から通える場所に高校があること

### 自宅近くの高校に通いたい

#### 【小学校・小学部】

- ・自宅から遠い高校だと、行き帰りにお金がかかるし、時間がかかってたいへんだから。
- ・家から一番近くの高校でも、車で20分ぐらいかかるから、もう少し近いところに高校があってほしい。
- ・家から離れると、不安がたまって、学習に集中できなくなるから。

#### 【中学校・中学部】

- ・交通費などのお金で負担がかかり学校に来られない人もいると思うから、自転車や歩いて通える距離だったら学校に来たいと思う人が増えると思うから。
- ・登校する時間が長いと勉強に充てることのできる時間が減ってしまうから、できるだけ近いところで自分のやりたいことができる高校に行きたい。
- ・高校が遠いと、行く時にモチベーションが下がるからなるべく家から近い方がいいから。

#### 【高等学校・高等部】

- ・家族がいる環境で生活できることで、成長の手助けに繋がると思った。
- ・都会に近い学校に通いたい。放課後にファーストフードを食べれるところに通いたい。
- ・家と学校までの距離が遠いため、自動車やバスなどで通学しているが、自動車やバスの本数が少ないので困っているの、本数を増やしてほしい。

### 自宅近くで高校を選びたい

#### 【小学校・小学部】

- ・自分の家の近くに色々な高校があったらその高校で学びたいと思う。
- ・どこに住んでいても学びたい学校で学べる制度を整えてほしい。

#### 【中学校・中学部】

- ・私の家は公共交通機関が少ないため、家から通える学校に限られてしまっています。学区内の学校でも、行ける学校と行けない学校で別れてしまい、正直行きたい学校をあまり選択できません。なので、もっと近くに進学校があると将来の止めに自分が本当にやりたいことができると思います。
- ・県内の高校で大学進学を目指そうとするとどうしても目指しやすい環境の整った高校がたくさんあるわけではないと感じます。また、盛岡市外に住む人はさらにそれが顕著だと思えます。学ぶ環境がより整った高校が増えるといいなと思います。

#### 【高等学校・高等部】

- ・家の周りにレベルが高い公立か私立しかなく、他の公立に通うのが大変。

## 7 自宅から通える場所に高校があること

### 通学や寮の支援をしてほしい

#### 【小学校・小学部】

・昨今の物価高で家計に負担が掛かり、学校教育費の負担が心配です。学費を心配すること無く安心して誰もが教育を受けれる環境を整えば良いと思っています。

#### 【中学校・中学部】

・自宅から高校までの道のりが遠い時に家の近くまでバスなどが来てくれる。  
・近くの高校だけではなく、通学費用（電車賃、バス賃など）の補助を利用することで家計に負担をかけずに選べる高校の選択肢を増やしたい。  
・バイトをしてもいい高校を増やして職業体験のようなことができ、社会に慣れることにもつながるし、金銭の問題で大学に行けない人も中にはいるからバイトでお金を稼いでその後いい大学に行く人をその高校から排出できるかもしれない。

#### 【高等学校・高等部】

・登下校時の公共交通機関の運賃の援助をしてほしいです。  
・町外から来る生徒だけでなく、町内の生徒にも支援をしてくれる高校が良い。  
・一人一人が自分の将来について深く考えるためには家庭の事情で経済的等で選択肢が絞られたり、勉強できる環境がない人がいることを解決していくべきだと思う。大学受験や就職も同じだと思う。

## 7 自宅から通える場所に高校があること

### 県教育委員会からのコメント

#### 県立高校の現在の姿

- 岩手県を9つの「ブロック」に分けて、高校の種類について県内全体のバランスを考えて、各ブロックの中で中学生が希望する学びを選べるようにしています。
- 専門の学びを保ちながら、より良い学習ができるようにするために、いくつかの職業の「専門学科」が集まった高校が必要だと考えています。
- 交通の便が良くなったので、「ブロック」の範囲を広げる必要があります。
- 将来、生徒の数が減った時にも、様々な専門の学びができるように、高校の種類について県内全体のバランスを考えなければならないという課題があります。
- ブロックとは別に、8つの「学区」があります。特定の高校に生徒が集まり過ぎて、地域ごとの生徒の数のバランスが崩れないようにするためです。通っている中学校がある学区ではない高校の「普通科」に入学したい生徒には、入学できる定員に制限がある場合があります。「学区」をなくした方がいいという意見もありますが、「学区」をなくしたとき、特定の地域に生徒が集まり過ぎることが心配されます。
- いくつかの学校を1つにまとめたとき、通学の費用が大きく増える場合は、他の地域との公平さを考えながら、通学などを支援することになっています。ただし、支援の方法は、電車やバスの便が地域によって違うので、他の地域との公平さや状況をよく考えなければならないという課題があります。

#### 県立高校の将来の姿

- 岩手県を6つの地区に分けて、高校の種類について県内全体のバランスを考えます。
- 将来、生徒の数が減った時にも、様々な専門の学びができるように、高校の種類について県内全体のバランスを考えていきます。
- できるだけ地域に高校を残すために、遠隔教育などの新しい方法を考えていきます。
- 施設などを有効に使うために、特別支援学校や中学校と連携することなどを目指します。
- 「学区」については、高校の種類について県内全体のバランスを決めた後に考えていきます。
- 将来、生徒の数が減った時、どのように通学などを支援したらいいかについて、市町村と協力して考えていきます。

## 8 ICTを利用した学習をすること

### 遠隔教育をしてほしい

#### 【小学校・小学部】

- ・不登校の人や学校に行けない人のためにリモートなどが欲しいと思います。
- ・私は、通いたい高校が遠いので困っている。リモート学習もできるようにしてほしい。
- ・何か理由があって、学校に来ることが難しい人たちが、学級まで来れなくても、校内の別の場所で学べるような環境を増やしてほしい。

#### 【高等学校・高等部】

- ・長期休業のときにオンラインで学習する。
- ・多少はリモート授業なんかを取り入れてもいいと思う。

### ICTを活用してほしい

#### 【小学校・小学部】

- ・タブレットを駆使して、グループで資料を作り、プレゼンをする学習がしたい。
- ・ICT化をしていると紙や資源の無駄にしないでいいから。
- ・3Dプリンターやパソコンルームなどがある学校で、いろんなことを試して自主学習したい。

#### 【中学校・中学部】

- ・就職・進学のために必要な学習をしつつ、近代的なAIまたは情報処理機器などを活用している高校に通えたら良いと考えます。
- ・受験やテストをタブレットで、できるようにしたい。

#### 【高等学校・高等部】

- ・現在は情報化社会が進んでいるので、ICT機器を利用した学習は進路選択の上でも学びたいと思ったから。
- ・パソコンを個人で1端末買った割にはたくさん使えていないと思う。
- ・ICT利用と言ってもスマホでできてしまうことが多いものもあるので、パソコン(surface)でしかできない打つ作業なども取り入れて欲しい。
- ・高校生ともなれば現代人としてそれらの技術には勝手に慣れていくものと思いますので、学校の授業くらいはブルーライトから離れさせておくのが吉ではないでしょうか。まずもってWi-Fiが貧弱であり、授業が思うように進まないことが多々あります。どうかICTフリーな授業を受けさせてください。
- ・社会に出てからよく使われているICT技術の扱い方について広く学びたい。

### 県教育委員会からのコメント

#### 県立高校の現在の姿

- 国では、情報、数学などに重点を置いた学びの内容にしながら、教科をこえた、つながりのある学習や生徒が問題を発見・解決する学びをICTを活用して強化する高校を「DXハイスクール」と定めています。  
「DXハイスクール」に定められた高校には、ICTを活用した学習の取組に必要な費用を国が支援します。
- 現在、ICTを活用した授業やオンライン授業などが広がっています。
- 県立高校では、5校の小さな高校（1学年あたり1～3クラス）で、遠隔授業をしています。
- 国では、遠隔授業のきまりを、遠隔授業がしやすくなるように変えようとしています。
- いくつかの高校同士で遠隔授業をするときに、時間割や学習内容を合わせなければならないという課題があります。
- ICTが快適に利用できない場合があるので、もっと快適に使いやすくしなければならないという課題があります。
- ICTを授業でもっと上手く活用できるように、先生方も勉強しなければならないという課題があります。

#### 県立高校の将来の姿

- 他の地域に通学が難しい地域の小さな高校（1学年あたり1～3クラス）で、様々な学びや進路の希望に対応できるように、遠隔授業についてのきまり、国の取組、良い点とうまくいかない点に注意して、遠隔授業を増やすことを目指します。
- 生徒が病気やケガ、感染症の流行などによって学校に登校できないときのために、遠隔授業と対面授業をバランスよく組み合わせた、より良い学習について考えていきます。

## 9 障がいや困ったことがあっても安心して学習できること

### 多様な生徒を受け入れる考え方を浸透させてほしい

#### 【小学校・小学部】

- ・障がいがあってもなくても、いろいろな人と学び、大人になって社会に出ても差別をする人がいないように高校からいろいろな人と学びたいからです。
- ・困ったことがあっても、相談することが出来ないし、先生に相談しても質問ばかりされるから、ただただ自分が思っていることを言いたいからです。

#### 【中学校・中学部】

- ・多様性が認められる学校に通いたい。
- ・ジェンダーレスに理解のある学校。
- ・様々な障がいについて考えたり、話し合ったりする時間や授業があったら嬉しいです。

#### 【高等学校・高等部】

- ・自分は違うがもっと不登校などで学校に来れない生徒などがこれて色々な障がいなどを持つてる生徒が登校しやすい多様な学校になってほしい。
- ・人に対しての差別や、障がい者に対して自分と比べ見下す人が多いのでそういう学びが欲しい。
- ・インクルーシブな学校に通いたい。障がいの有無、持病の有無などに関係なく皆が平等に教育を受けられて誰かに何か言われることの無い生きやすい学校。

### 多様な生徒に対応した学習内容にしてほしい

#### 【小学校・小学部】

- ・障がいを持っている人でも分かりやすく教えてもらえる高校に行きたいから。
- ・私は、集団行動が苦手だし、学校は一人になりたくてもなれないからです。そして、一人だとわかるまで苦手なことに考えることが出来るからです。

#### 【中学校・中学部】

- ・障がい者や健常者に関係なく同じ場所で学習に取り組むインクルーシブ教育を実現して普通高校と特別支援学校を選択できるようにする枠組みを作るべきだと思う。
- ・少ない人数の高校で学習したい。いじめなどで不登校しがちで、出席日数が不安だし、学習も追いついて行けてないから、支援してくれる高校がいい。

#### 【高等学校・高等部】

- ・先生が手話を使って会話をしてくれるので気持ち的にも楽ではある。
- ・障がい者が安心して学習できる学校がもう少し増えてもいいと思う。都会の方でなく田舎の方に特にあればいいかなと感じる。
- ・病気など様々な理由で学校に行くことの難しい人たち1人1人に合わせた学校が出来ればいいな。また、不登校と呼ぶのではなくホームスタディなど名前を変えてほしい。

### 多様な生徒に対応した設備を整えてほしい

#### 【小学校・小学部】

- ・障がい者でも一般人でも使いやすい設備を導入してほしい。
- ・支援学級みたいに少ない人数で勉強したいです。バリアフリーの学校が良いです。車椅子で通える学校が良いです。
- ・自分では勇気を出して話せない人のためについてのことのでポストとかが作ってほしい。

#### 【中学校・中学部】

- ・視覚障がいの私が学習しやすい高校。
- ・トランスジェンダーに優しい高校に通いたい。(中性的な制服が欲しい。)

#### 【高等学校・高等部】

- ・障がい者でも誰もが暮らしやすく設備が整っている学校がいい。また、これからの社会に適応しバリアフリーでもあり誰もが学校に来やすい学校であってほしい。

### 県教育委員会からのコメント

#### 県立高校の現在の姿

- 特別支援学校だけでなく、高校などでも、教育上特別な支援が必要な児童生徒が増えています。
- 学校は、みんながお互いに個性を尊重して、支え合い、認め合える全員参加の社会づくりで、重要な役割を果たすことが求められています。
- 国の調査結果では、全ての通常の学級に、教育上特別な支援が必要な生徒がいる可能性があることが明らかになっています。
- 県内では、特別支援学級にいた生徒や通級をしていた生徒のうち、3人に1人は県内の全日制県立高校に進学しています。
- 県内の全日制県立高校では、5校で「通級による指導」を行っています。
- 最近では、県内のほぼ全ての公立高校に不登校の生徒がいて、不登校のきっかけと考えられる原因は様々です。
- 高校と特別支援学校が連携して、不登校や教育上特別な支援が必要な生徒それぞれに対応した支援が必要です。

#### 県立高校の将来の姿

- 高校と特別支援学校の連携を深め、不登校や教育上特別な支援が必要な生徒への対応や、よりインクルーシブな教育について考えていきます。  
「インクルーシブな教育」とは、障がいのある者と障がいのない者が一緒に学ぶ仕組みのことです。
- 不登校の生徒に配慮した学習については、国や他の県の取組に注意しながら、遠隔教育などで支援します。

## 学問に関する学科

### 【小学校・小学部】

- ・環境について学びたい。
- ・人力飛行機の設計や、作り方、飛び方などを学べる高校がいい。
- ・今の日本の高校や大学は、薬学専攻の学校もありますが、薬学を学ぶといっても西洋の医学だけで、東洋の昔からある漢方などの医学はあまり勉強されていないそうです。なので、漢方のことや東洋医学のことが学べる高校や大学に行きたいです。

### 【中学校・中学部】

- ・教育のことについて学習できる、専門的なことを学べる学校。
- ・哲学や、心理学などに強い興味をもっているが、高校では学ぶ機会が無い。
- ・株などについて学べる学校やこれからの社会など、政治を学べる学校。
- ・高校で気象に関することが学びたい。

### 【高等学校・高等部】

- ・地政学を学べる分野や教科を取り入れる。
- ・経営、企業について学びたい。
- ・最近進行している環境破壊及び生態系への懸念について解決・活動する高校で学びたいと思います。

## 地域に関する学科

### 【小学校・小学部】

- ・伝統文化などを学びたいです。

### 【高等学校・高等部】

- ・探究などで発見する地域の課題を建前ではなく自分の将来的な研究課題とすることで、研究学問が決まり、大学への希望を見つけやすいので、よりリアルに地域課題を研究できる高校がいい。
- ・もともとある教科の勉強と同じくらい地域のことを学べるので良いと思う。

## ITが得意な人を育てる学科

### 【小学校・小学部】

- ・ゲームやアプリを作れ、プログラミングができる高校が良い。

### 【中学校・中学部】

- ・プログラムやAIなどに関係している高校。
- ・esportsやVTuberなど最近新しく出てきたものについて学べる学校に通いたい。

### 【高等学校・高等部】

- ・プログラミングを深く学ぶことができる学校。

## その他の学科

### 【小学校・小学部】

- ・アニメーションなどに関係することを高校で学びたい。
- ・演劇について高校で学びたい。
- ・ぼくは、鉄道が好きなので、鉄道関係の高校にかよいたいです。そして、好きな鉄道関係のもの以外にもいろいろなことを学びたいです。

### 【中学校・中学部】

- ・専門的な職業（美容師や保育士、介護士など）に就くために必要な知識、考え方を学べる学校に通いたいと思います。
- ・県立の高校で看護師を目指せる学校ができたらいいなと思う。
- ・情報科。
- ・留学制度があり英語だけではなくもっとたくさんの国の言語を学びたい。
- ・国際科で英語を学びたい。でも大学にも行ったほうがいいと思うから悩んでいる。
- ・岩手県では、自分の周りに漫画科の高校が少ないので、漫画科がある高校に通いたいです。
- ・新しい分野かはよくわかりませんが、学校で日本舞踊みたいな日本芸能のことをやりたい。

### 【高等学校・高等部】

- ・ある種大学のように、自分でテーマを決めて研究を行える学校があったら面白いと思う。

### 県教育委員会からのコメント

#### 県立高校の現在の姿

- これまでの「普通科」の学びを柔軟に改善して、「普通科」の範囲の中で新しい学科をつくることができるようになりました。
- 「普通科」の範囲の中の新しい学科には、主に「学問に関する学科」、「地域に関する学科」、「ITが得意な人を育てる学科」などがあります。
- 県内の公立高校では、新しく「地域に関する学科」ができました。
- 県内の公立高校にはまだない、「学問に関する学科」などをつくることを考えています。
- 「専門学科」で新しい学科をつくることができます。
- 高校は、生徒の能力や個性に合わせた、様々な学びを進めて、生徒の将来の社会での役割を考えた学習ができるようにすることが求められています。
- 市町村などから、地域の特長を生かした新しい学科をつくってほしいという意見があります。
- 国際的な見方、多様性を認める力などを育てるために、生徒が問題を発見・解決する学び、教科を越えた、つながりのある学習をさらに活発にしなければなりません。

#### 県立高校の将来の姿

- 今ある「地域に関する学科」をモデルに、他の高校でも取り入れることを目指します。
- 特色・魅力ある学科として「学問に関する学科」をつくることを目指します。
- 国際社会で活躍できる人を中心となって育てる高校をつくることを目指します。

## 学習したいことを自分で選びたい

### 【小学校・小学部】

- ・大学のように好きな時間に好きな授業を受けられる高校。
- ・必要最低限の学習だけの高校で学びたい。
- ・学習内容を自分で選べれば、様々な分野にチャレンジをすることが出来ると考えたから。
- ・私は、自分が学習したいことを選べる高校に通いたいです。得意な所や苦手な所を選んで学習したいからです。

### 【中学校・中学部】

- ・総合的に学びたいひと、専門的に学びたい人など、それぞれ学びたいことが違うからいいと思った。
- ・大学と同じことをやる。特定のテーマについての先生がいて、学びたい先生の教室に行く。
- ・今までは決まった学習を決まった時間にしていたけれど、自分で学びたいことを選んで、学習できることが楽しみだと思ったし、より働く時のことをイメージして学習できるから、関心を持ちました。
- ・学校に行けているけど、人間関係が苦手や先生との距離感が苦手など様々な理由があるから、自分がこの先生のこの授業をここで受けて、こんなことが実現する学校があってほしいです。

### 【高等学校・高等部】

- ・選択科目の枠を超えて、もっと自分である程度自由に履修科目を選ばせて欲しい。その点で進学型単位制はよい取り組みだと思うため、他高校にも広げてほしい。
- ・文系でも物理ができたり理系でも世界史が出来る個人個人が学びをオリジナルで作れる高校。
- ・私は看護系の進学を希望しています。私の目指す大学では、文系の教科プラス生物、化学が必要です。私は文系教科のほうが好きで学びたいと思っていますが今の体制では文系から生物を学べないため、理系に行かなくてははいけません。そのため、ある程度必要な単位は指定されていたとしても、自分の学びたい教科を選択できる仕組みがあればよかったのになと思っています。
- ・学習したいことを自分で選ぶことで、自分の長所や特技を伸ばすことにもつながると思います。また、自分が興味のあることを学べるので楽しさもあると思います。
- ・進路が確定した人にとって必要なくなった教科をそのまま受けるのではなく、大学進学後などにも使う教科を強化する授業体制があるといい。

### 県教育委員会からのコメント

#### 県立高校の現在の姿

- 高校で「単位制」という制度を取り入れると、先生の数を増やすことができます。  
先生の数が増えると、教科の中で得意な人と不得意な人を別々に授業をしたり、生徒の進路や興味に応じて選択できる学びの幅を広げたりすることに今まで以上に取り組みやすくなります。  
これによって、生徒一人一人に応じた学習が充実して、学習したい気持ちを向上させることができます。
- 令和6年度では、県立の「全日制」高校で「単位制」を取り入れているのは、「総合学科」の高校だけです。
- 令和7年度からは、県立の「全日制」高校の「普通科」でも、「単位制」が取り入れられます。
- 主に大学進学を目指す「全日制」高校で、「単位制」を取り入れて、学力を向上させる工夫をしなければなりません。
- 「単位制」について、生徒や保護者など多くの人に、よく知られていないという課題があります。

#### 県立高校の将来の姿

- 主に大学進学を目指す「全日制」高校の「普通科」で、生徒の様々な進路に対応した学習をして、大学を卒業した後の将来像を作っていける学びを充実させるために、「単位制」を取り入れる高校を増やすことを目指します。

### 地域を活性化させたい

#### 【小学校・小学部】

- ・私は地元が好きなので地域に貢献できるといいなと思いました。
- ・岩手県は人口減少が年々増えているので、岩手に若者をとどまらせる、地域に貢献する学習をすることはとても良いと思う。積極的に取り組んでほしい。

#### 【中学校・中学部】

- ・地域の魅力を県外など幅広いところに発信する授業を行いたい。
- ・岩手の日本の世界のリーダーを目指す高校に行きたい。

#### 【高等学校・高等部】

- ・地域の伝統や地域のことに触れることをしたり、地域にある課題などに向き合いそれを解決するなど地域貢献をするための学習がしたい。また、地域を活性化させる活動も考えていきたい。
- ・自分が通っている高校は、探究活動をやっている、地域にどうしたら貢献できるかを探究することができるので、良い授業だと思いました。自分が今まで知らなかった魅力や課題にも気づくことができます。
- ・後継者不足に悩んでいる職業や、地域に根付いた職業など。
- ・現在、岩手県は他県に比べてあまり発展できてないと思うし、都会に行ってしまう人も多くいるので将来、生活が成り立たなくなってしまうと思う。そのため、地域に出来ることを知っておきたい。

### 医療分野の職業に就きたい

#### 【小学校・小学部】

- ・将来は看護師を目指しているので、それに合った勉強をしたいです。
- ・助産師になれる学校で助産師になる事に何が必要かを学びたい。
- ・主に医療について学び、薬剤師になりたい。
- ・自分の夢がお医者さんなので大学進学に向けて集中できる環境で学びたい。

#### 【中学校・中学部】

- ・自分は医学部志望なので医学部に特化した学習(医学系の学習)を高校で学べたらなと思っている。
- ・医療系に就きたくてまだ何になりたいとかははっきりしていないので医療系のどれかに就いてもためになる知識や学びを得られる学校に通いたい。(医療系ではなくても生きていく中でためになることを学びたい)

#### 【高等学校・高等部】

- ・医学や看護についての事を高校時から学んでみたい。

### 科学分野の職業に就きたい

#### 【小学校・小学部】

- ・高校でやらなきゃいけない学習以外にも、大学のように自分が研究したいことも研究できるとよいと思う。
- ・科学について色々なことを学んでみたいからです。

#### 【中学校・中学部】

- ・今後の日本は他国に負けないようななにか新しいアイデアや技術を磨くべきだと思うので、生徒個人がある分野について深く探求したいと思っているのならば学校でも支援してほしい。

### 県教育委員会からのコメント

#### 県立高校の現在の姿

- 岩手県が解決を目指している課題の一つに、医者を増やすこと、研究者や技術者を育てることがあります。その解決に向けて、高校の学習を充実させることを目指しています。
- 他の県では、主に大学進学を目指す高校に、医療分野の職業を目指すコースなどがある例があります。
- 医者を増やすこと、研究者や技術者を育てることなどの課題解決に向けて、生徒への意識付けや高校の学習をさらに充実させる取組について考えていかなければなりません。

#### 県立高校の将来の姿

- 岩手県が解決を目指している課題に対応した人を育てるために、医療分野や科学分野の職業を目指すコース、生徒が問題を発見・解決する学習や、教科を越えた、つながりのある学習に取り組むコースなど、特色あるコースをつくることを目指します。

## 13 県外出身の生徒と学習をすること

### 県外出身の生徒と学習したい

#### 【小学校・小学部】

- ・他県からくる生徒に交通支援をしてくれる高校で学びたい。
- ・小学校みたいに同じ地域出身の友達との勉強もいいと思うけど、高校は小学校より地域関係なく学力などで集められていて、県外出身の友達もいるので、自分とは違う価値観や文化にも触れられて、いい事だなと思います。
- ・県外の人といろいろな交流を深めていって同じ高校で学習することによってほかの学校と交流するときにコミュニケーションをとる能力高まるから。
- ・いろんな国や県の人と方言や、外国語を学びたいからです。

#### 【中学校・中学部】

- ・私の地域では過疎化が進み、今現在通っている中学校も私が二年生の時に統合し、町で唯一の中学校となりました。私は町の自然や人の温かさなどの良いところを伝えていきたいと考えています。そのために、県外出身の生徒の話聞きながら地域に貢献するための学習をしたいと思います。
- ・県外出身の方と関わることで、他県の学習に対する姿勢を知る機会を得ることができ、自分とは視点の異なる意見を取り入れ自分の考え方をより柔軟にできると思いました。
- ・ほかの県の人とのコミュニケーションをとることで、岩手にはない新しいことの発見や逆に他県の生徒に岩手にしかないことも教えることもできる。

#### 【高等学校・高等部】

- ・教育目標や環境について、県外出身の生徒でも安心でき、魅力を感じられる高校があれば良いと思う。
- ・外国の人をもっと増やして話したい、遊びたい。

### 県教育委員会からのコメント

#### 県立高校の現在の姿

- 県外の中学校から県内の公立高校に入学したい場合は、家族で岩手県に引っ越しをして来なければなりません。ただし、青森県、秋田県、宮城県に近い地域では、特別に引っ越しをしなくても県内の公立高校に入学できる制度があります。それ以外にも、県外出身の生徒が県内の公立高校に入学できる制度があり、それを「いわて留学」と言います。
- 令和6年度には、13校で「いわて留学」を行っており、合計32人の生徒が入学しています。
- 「いわて留学」を行っている高校では、県内の生徒と県外の生徒と一緒に学ぶ中で、お互いを刺激し合って、良い学習ができています。
- 生徒が少なくなっている1学年あたり1クラスの学校へは、「いわて留学」を行うための支援を続けなければなりません。
- 親から離れて県外から来た生徒は、下宿や寮での生活や学校生活に馴染めない場合があるので、そのような生徒への支援が求められています。
- 県内に住んでいる外国人は増えていて、今後は外国人の生徒も増えることが予想されます。県立高校には何人かの外国人の生徒がいて、日本語の指導などを個別に対応しています。
- 今後、日本語の指導が必要な生徒が増えることが予想されるので、生徒に応じた適切な支援をしなければなりません。

#### 県立高校の将来の姿

- 「いわて留学」を行っている高校、これから行おうとしている高校を支援することを目指します。
- 県外から来た生徒が、下宿や寮での生活、学校生活に馴染めるように支援することを目指します。
- 外国人の生徒に対して、日本語の教育含めた、学校での学習全体を支援することを目指します。

## 部活動について

### 【小学校・小学部】

- ・部活の種類が豊かな高校にかよいたい。
- ・帰宅部があって楽しい高校生活が送れるところ。

### 【中学校・中学部】

- ・今までの学校になかった珍しい部活（いっぱい部活がある高校）があってほしい。
- ・部活動にも集中して取り組める高校で学びたい。

### 【小学校・小学部、中学校・中学部、高等学校・高等部】

- ・運動部（野球、陸上競技、サッカー、バスケットボール、柔道など）の強い高校に通いたい。
- ・文化部（郷土芸能、軽音楽、吹奏楽、美術、将棋、eスポーツなど）がある高校に通いたい。

## 県教育委員会からのコメント

○学校部活動は生徒にとって望ましいスポーツ・文化芸術環境となるように、技能などの向上や大会などで好成績を収めること以外にも、気軽に友達と楽しめる、適度な頻度で行えるなど多様なニーズに応じた活動を行うことができるなど、各学校において工夫して取り組んでいます。生徒の皆さんは、仲間と協力してアイデアを出しながら、やってみたいことの実現に向けて取り組んでみてください。

○「岩手県教育振興計画」（2024～2028）には、「文化部の生徒を対象とした技能講習会、文化芸術活動に関する講習会や発表の機会を支援すること」を盛り込んで、文化部の活動に取り組む生徒を応援しています。

## 校則について

### 【小学校・小学部】

- ・髪を染めてもいい学校がいい。
- ・校則はメイクなどもOKにしていいと思う。大人になったら、メイクをできるようになってたほうがいいから。バイトもありが良いと思う。
- ・制服が可愛い高校に行きたい。

### 【中学校・中学部】

- ・女子用のスラックスがある学校を増やしてほしい。
- ・私服登校ができる高校にかよいたい。
- ・バイトをしてもいい高校に行きたい!将来のことで自分で起業したいからそのための貯金をしたい。

### 【高等学校・高等部】

- ・見た目で人を判断してはいけないと言うくせに整容点検などでツブロック禁止や前髪が目にかかってはいけないなどの人を見ただ目で判断するような校則が矛盾していると思うのでそのような矛盾のない高校に通いたいです。
- ・時代の変化に合わせて、スマホ使用の制限を少し緩くして欲しい。また、私の高校は登下校が必ず制服となっているが、夏は本当に暑くて熱中症の恐れもあるので夏だけでもいいからジャージ登下校を可能にしてほしい。
- ・ブラック校則ではない学校。

## 県教育委員会からのコメント

○現在、性の多様性を尊重する観点などから、制服を選択制にする学校が増え始めています。今後、そのような動きがより一層活発になると思います。

○地球温暖化の影響で、夏は特に、朝夕も含めて暑さが厳しい日が多く、学校での生活も大変だったと思います。  
みなさんが熱中症にならないように、学校では、国のガイドラインに沿って、その日の天候によって部活動なしなどの判断をしています。  
今後、暑さに関するみなさんのとらえが判断の参考になるように、働きかけていきます。

○校則や校内の決まりは、生徒のみなさんが健全な学校生活を送り、よりよく成長していくためにあるもので、生徒のみなさんの自主性を伸ばすようなものであることが大切です。

○「岩手県教育振興計画」(2024~2028)には、「各学校で校則などの見直しを行うこと」などを盛り込んでいます。校則や校内の決まりについて、みなさんの意見を尊重しながら、必要な見直しが行われるように各学校へ働きかけていきます。

## 学校の安全・安心について

### 【小学校・小学部】

- ・周りの仲が良く、安心して学習することができるような学校に通いたい。
- ・差別や偏見などがなくみんなと楽しく勉強ができる高校がいいです。
- ・一件もいじめがない高校にかよいたい。毎年いじめで自殺をしてしまう若者が日本では多いので定期的に命の大切さを高校でも呼びかけてほしいです。

### 【中学校・中学部】

- ・性別の差が関係ない学校。
- ・不安だったり心配なことがあったらどんなことでもすぐに安心して相談できる学校へ通いたい。安心して学校生活をおくることのできる学校へ通いたい。

### 【高等学校・高等部】

- ・秩序が守られた学校で学習したい。
- ・生徒が先生に相談事がしやすい環境の学校が良い。

## 県教育委員会からのコメント

○全ての児童生徒が安心して学校生活を過ごすことができるように、先生方が授業や行事の中で、ありのままの自分を認めて、充実した気持ちになれる心の居場所をみなさんに用意しています。

また、全ての児童生徒が自分の考えで、他の人と協力して取り組む絆づくりの場が守られることを各学校に呼びかけています。

例えば、授業でお互いの考えを伝え合うような学び合いをしたり、授業や行事のまとめとして友達から学んだことやお互いのよさなどを振り返ったり伝えたりすることです。

○お互いのよさや可能性を認め合う活動や人権教育の充実を目指していて、先生方が子どもの人権について理解を深める研修に参加しやすくする取り組みをしています。

○各学校では、「いじめは人間として絶対に許されない」意識を学校教育全体で生徒一人一人に浸透させる取組をしています。また、先生方が授業や行事の中で、全ての児童生徒が安心して過ごせるように、いじめが起きにくい学校・学級づくりに取り組んでいます。

○児童生徒が自分の考えで取り組んだ、いじめ防止のよい例を各学校に紹介するなどして、いじめが起きないように防止する努力をしています。

初めの段階のいじめも含めて、いじめがあることを学校が積極的に認めて、市町村教育委員会、県教育委員会に報告するように呼びかけています。

各学校では、いじめられた児童生徒の気持ちを聴き取り、いじめられた児童生徒に寄り添い対応してきました。引き続き、いじめられた児童生徒の気持ちを尊重しながら対応していきたいと思います。

## 施設について

### 【小学校・小学部】

・部活や、勉強などの設備がしっかりしている高校。

### 【中学校・中学部】

・校内は清潔感があってほしい。(トイレなど)

### 【高等学校・高等部】

・綺麗で新しく、設備や椅子、机などが壊れていない校舎で勉強したい。

・男女トイレが校舎内の各階に置かれているが、そこに男女共用トイレを設置して欲しい。

・トイレが和式が多いが、これから使い慣れていない人が増えていけらうし、特に夏場臭うので洋式に改修したほうがいいと思う。

・校舎が綺麗なのは絶対条件。私が通っている高校の今の校舎が限界を迎えていると思われる。それにより私たちは厳しい環境で学習をしている。高校の入学希望者が減りすぎているのも、校舎の荒廃によるものであると考えられている。現在、過疎化が著しく進んでいる地区の、唯一の進学校として生きていくために、校舎の建て替えを検討してほしい。

・大学進学に向けた個別学習ができる場所が確保できる学校がいい。

## 県教育委員会からのコメント

○県立高校の校舎などの整備については、安全・安心で充実した学校生活を送ることができる教育環境を目指して、県全体の施設が古くなってくる状況などをふまえて、計画的に取り組んでいきます。

○県立高校には、建てられてから50年以上経った校舎などが23校あります。学校施設が古くなっていく中で、一斉に建て直しや建物の修理をする時期を迎えて、施設の整備を求められています。

現在、学校が建てられてからの年数だけではなく、建物の設備の品質の状況に応じて、建て直しや建物の修理を行っています。必要な高校では、屋上の防水や暖房の配管の修理のほか、トイレの洋式化などを行っています。

今後も、十分な安全性、防災性、防犯性や衛生的な環境を備えた安全・安心な教育環境を目指して、計画的な整備に取り組んでいきます。

## 教員について

### 【小学校・小学部】

- ・分かりやすく授業をしてくれる高校に行きたいです。
- ・先生が悪いことをしない。安全。

### 【中学校・中学部】

- ・大学進学、就職に向けての学習、を全校の職員生徒で積極的に行い、職員の方々は生徒が分かりやすいように、遅れが無いように学習を行ってくれたら生徒全員の学力が上がると思います。
- ・生徒一人ひとりに寄り添い、質の高い学習ができる学習ができる高校で学びたい。
- ・私はまだ中学生で高校のことはよくわかりません。ですが教員の方々が他の教員の授業を学ぶ機会がないと聞きました。研究授業を率先して行うことで生徒にとっても学びが深まると思います。ぜひお願いします。
- ・生徒の立場でいうのは大変憚られる気がしますが受験対策をするにあたり、教師陣のスキルも問題になると考えられるので、県内全ての高校でなるべく高いスキルを持った教員を配置できるように育成してほしいと思います。

### 【高等学校・高等部】

- ・先生にもICTに不慣れな方が多い中で、無闇矢鱈にパソコン等を授業に取り入れようとするのは非効率的だと思います。
- ・学力の向上が急務だと思う。教員の、特に小学教員の給料を増やし、優秀な先生による質の高い授業を提供しなければ岩手県の未来は無いと考えている。自分は共通テスト最下位を何年も取るような県の学校に自分の子どもを通わせたいとは強く思わない。
- ・もっと丁寧に分かりやすく、一人ひとりにあった授業をして欲しいです。

## 県教育委員会からのコメント

- 岩手県では、次のような先生を求めています。
  - ①分かりやすい授業ができ、子供たちに確かな学力をつけることができる先生
  - ②子供たちに対する愛情をもち、一人ひとりの子供と真剣に向き合うことができる先生
  - ③豊かな人間性をもち、幅広い教養と良識を身に付けている先生
  - ④学校で働く者としての使命感や責任感をもっている先生
- 岩手の先生は、すべての子供たちを個人として尊重し、「お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」の実現を目指しています。

(コメントは、次のページに続きます。)

○岩手県では、それぞれの先生が、先生としての経験年数などに応じて身に付けて欲しい知識や技能をまとめた「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」（先生としての目標）を作っています。この指標（目標）に沿って、それぞれの先生が、様々な研修（勉強）をしながら、知識や技能を高めるための学びを重ねていけるように努めていきます。

「岩手県教育振興計画」（2024～2028）でも、「先生の能力向上のための研修を充実すること」としているため、これからも、みなさんに信頼される先生であり続けられるよう取り組んでいきます。

○教員のICTを活用した指導力の向上については、先生方みんなが受けなければならない研修に、ICT研修を取り入れるなどしています。今後も引き続き、研修などを通じて、ICTを効果的に授業に取り入れることができるよう取り組んでいきます。

## 高校入試について

### 【中学校・中学部】

- ・なんで公立高校の推薦をなくしたのか知りたい。
- ・なぜ特色入試をやるんですか？

## 県教育委員会からのコメント

○中学生の自主的・自発的な部活動や多様な活動の状況を踏まえて、推薦入試は、令和7年度入試から特色入試に変更しました。

特色入試では、部活動の実績（大会の成績）を出願と要件とせず、生徒が、各高校が示す「求める生徒像」を参考にして、主体的に出願することとしました。また、選抜にあたって、実績を評価するのではなく、具体的にどのような活動を行ってきたかを参考にし、その活動をとおして身につけた力を各学校の検査を通じて評価します。

これによって、生徒一人一人が、その様々な資質・能力や興味・関心、適性に基づいて、より一層、適切に高校を選択できるようになるものと考えています。